

2008 年度

科目名 地理学 B	対象学科・学年 文学部文財 1 回生 人間人社 1 回生	担当者 阪野 祐介
授業テーマ 地域・環境・景観をとおしてみる地理		
授業の概要と目標 地理学の目的とは、場所の理解を通して、社会の諸問題の解決の糸口を提示し、人類の平和を希求することです。人びとは、場所とは切っても切れない関係にあります。どのような活動も場所と結びついて行われています。そのため、本講義では地理学という立場から、場所を理解するための手順と方法について提示していきます。そして、その手順・方法から私達の身の回りの様々な現象を、場所という概念をとおして考えるきっかけとして下さい。		
評価方法 平常点（出席点）、および学期末試験の成績により評価します。		
テキスト なし。	著者	出版社
参考書 地理学概論 文化地理学ガイダンス - あたりまえを読み解く三段活用	著者 上野和彦他編著 中川正他著	出版社 朝倉書店 ナカニシヤ出版
授業スケジュール・内容 1. 民俗の地理学（1） 日常生活の中の地域文化を見つけ出そう。 2. 民俗の地理学（2） 民俗行事と場所はどのように関係しているのだろうか。 3. 政治の地理学（1） 政治と地域・環境・景観はどのように関係しているのか。 4. 政治の地理学（2） 景観とイデオロギーがどのように関係しているのか。 5. 政治の地理学（3） さまざまな場所には隠れた意味がある。 6. 民族の地理学（1） 国家と民族、エスニシティについて考えよう。 7. 民族の地理学（2） 都市と民族、エスニシティについて考えよう。 8. 民族の地理学（3） 地域社会とエスニシティについて考えよう。 9. 環境問題（1） 世界で現在進行している環境問題を知ろう。 10. 環境問題（2） 身近な環境問題を考えよう。 11. 宗教の地理学（1） 宗教を地理学ではどのように読み解くのか。 12. 宗教の地理学（2） 宗教を分布から読み解く。宗教の空間構造の形成過程を探る。 13. 宗教の地理学（3） 宗教を地域社会から読み解く。地域共同体は宗教をどのように受容するのだろうか。 14. 宗教の地理学（4） 宗教と国家について考える。宗教的行事にも政治的意図が見え隠れする。 15. 宗教の地理学（5） 聖地もやはり創られる。聖地を信仰者やそれ以外の人びとはどのように感じるのだろうか。		